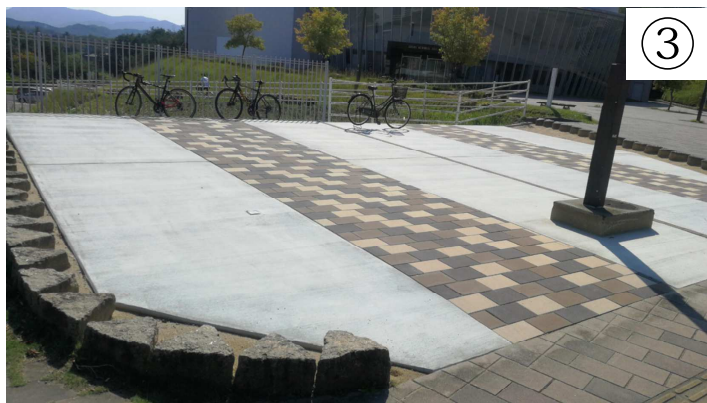


自転車規制ふざげな！



④ 昼休み、学プラ前駐輪場にて

拡声器を使って連呼
「駐輪場に停めて
下さーい！」
「降りてくださーい！」
「撤去しますよー！」

自分で転び、暴行罪をでっち上げた
森川泰彦職員が拡声器で呼びかけ

後期開講と同時に登場した自転車規制の数々。これまでも不評だった北一食堂横の自転車バリエードに無数の自転車止めが追加され(①)、サタケ横の坂にはフラワーポットが増設(②)。自動車教習所のS字クラクさながらです。加えて、来年1月から中央図書館前が全面駐輪禁止にされます。駐輪場が増設されましたが、停められるのはわずか50台程度(③)。法経・文学部棟にも駐輪場を増設する予定のようですが、中央図書館からかなり離れた

位置です。こうした規制が強行される一方、「正式な自転車ルート」さえ一切示されていません。さらに昼休みは、学プラ前駐輪場に拡声器を持った森川職員(学生生活支援グループ)が「駐輪場に停めてください」などと自転車利用者に連呼する様子(④)も見られました。そもそも学プラは以前は駐輪場だった場所。駐輪場を奪っておいで、スペースの狭くなった駐輪場に停めるとは、ふざけるなとしか言いようがありません。



自転車規制の責任者は

文科省からの出向役員！

なにが学生ファーストだ

『広大人通信』より



広大役員紹介



自転車規制をおこなったことは他にたくさんあるは責任者は理事（財務・総務担当）の山田道夫氏（もみじ）「理事／副学長メッセージ第11号」より。この人物は、なんと文科大臣官房文部科学戦略官から、役員出向で広大の理事になった経歴の持ち主。つまり、文科省から広大に直に送り込まれた人物。「大学改革の目に見える実績作り」として自転車規制が行われている可能性があります。

山田理事は広大HPで「学生ファースト」を掲げています。それでいながら、やったことは学生の要望と真つ向から反対の、このふざけた自転車規制です。北一食堂横の自転車バリケード規制は広大生からの評判がここ最近で最悪でした。そんな学生の意見はお構いなしということですよ。

学生を舐めるのもいい加減にしろ！ 広大生の怒りをひとつに集めて、この自転車規制を吹っ飛ばそう！

■ 職員が生き生きと活躍できる職場に

山田 道夫 理事(財務・総務担当)

【どんな広島大学にしたい等、抱負を教えてください】

①「平和」と「学生ファースト」を常に意識した総合研究大学②本学の特色や強みが社会から適切に評価されるような発信力の強化③「大学力」の最大化の基盤として、事務職員が教員・技術職員等と協働し、生き生きと活躍できる明るい職場づくりの推進。昨年度、若手・中堅事務職員約170人の意見を聴き、職場環境の改善に反映しました

【仕事で一番大切にしていることを教えてください】

現場の意見をよく聴いた上で、冷静に判断すること。決めた以上は、自ら率先して、最後までやり抜くこと

【好きな言葉は何ですか？】

努力、感謝、笑顔



※喫煙所の廃止もこの山田道夫理事が責任者。